

～幼少(児)期の環境学習と本当に子どもたちの命を守る防災を考える～ 子どもの森づくり運動全国集会&研修会

参加者募集



子どもの森づくり運動の参加園が集う、「全国集会&研修会2016」のご案内です。今回は三重県での開催となります。テーマは三つ。①これから持続可能な未来を生きていかなければならない幼少期・幼児期の子どもたちに“環境心”を育む「環境学習」について②大きな災害が近い未来に予想される今日、『本当に子どもたちを助ける防災、危機管理』について③さらに、今、社会的な要請が高まる公益法人の地域貢献活動の現状と方法についても学び、協議したいと思います。年に一度の機会です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

●開催概要

- ・主催：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（子森ネット）
- ・幹事園：社会福祉法人法輪会「ほうりん保育園」（三重県）
- ・協力：全国私立保育園連盟 大谷保育協会 保育環境研究所ギビングツリー 他
- ・特別協賛：日本郵政グループ
- ・日程：2016年2月23日（火）、24日（水）
- ・会場：三重県鈴鹿市白子「ホテルグリーンパーク鈴鹿」（近鉄「白子駅」西口より徒歩15分）
- ・参加費：15,000円（研修費、1泊朝食付宿泊費、懇親会費、保険料含む）
- ・募集人数：50名程度（最低催行人数：25名）＊催行定員に満たない際は開催中止となる場合があります。
- ・募集対象：幼稚園・保育園職員、保育関係団体職員、保育研究者、学生、他
- ・募集締切：2016年2月5日（金）

●実施スケジュール（変更あり）

2月23日（火）

- 12:30 集合
- 13:00 開会式
- 13:10 **基調講演①「21世紀を生きていく子どもたちに」**
講師：NPO法人 C・C・C 富良野自然塾
副塾長 林原博光氏
- 14:20 **基調講演②「多様な森林の持続的な保全のために」**
講師：筑波大学 生命環境系 教授 津村義彦氏
- 15:30 幼児期の環境学習活動について
「森育」プログラム、及び環境学習活動事例発表
- 17:10 公益法人に求められる地域公益活動について
①問題提起
講師：三和新琴似保育園 菊地秀一園長
②意見交換会
コーディネーター：青い鳥保育園 岡村斉園長
- 19:00 懇親会

2月24日（水）

- 8:30 **基調講演「あの日のわたしたちのこと」**
岩手県山田町 震災語部 昆 尚人氏
- 9:30 **防災講座「本当に子どもたちの命を守るために」**
講師：タフジャパン 代表 鎌田修広氏
- 12:00 振り返り
- 12:30 終了、解散
＊オプション講座：“どんぐり”の苗木植樹体験



2015年大分研修会風景

講師プロフィール

	<p>林原博光氏 NPO法人 C・C・C 富良野自然塾 専務理事 副塾長 1943年 鳥取県生まれ。“離れてしまった子どもたちと自然との距離を近づけること”を願って様々な自然学校での指導、運営に携わる。2006年より、作家、倉本聰が主宰するNPO法人富良野自然塾の専務理事、副塾長。閉鎖されたゴルフ場に植樹して元の森に還す「自然返還事業」と、そのフィールドを使った「環境教育プログラム」を運営し、地球レベルで環境問題を考える様々なプログラムを開発、全国各地に展開中。CO2の排出によって引き起こされる異常気象など人類の危機的状況を人々に認識してもらい、未来の子どもたちに健全な地球を引き継ぐための様々な活動を続けている。</p>
	<p>津村義彦氏 筑波大学 生命環境系教授 筑波大学生命環境系教授。森林植物を対象とした保全遺伝学や分子育種学が専門。森林植物の系統地理的研究，分子生態学的研究，地域適応的遺伝子の探索，スギなどの有用樹木の分子育種学的研究を行っている。東南アジアの熱帯林でも持続的な林業経営や保全のための遺伝学的な研究を行っている。</p>
	<p>昆直人氏 岩手県山田町震災語り部 新生やまだ商店街協同組合代表 東日本大震災を風化させないよう、自然災害の脅威、家族との繋がり、絆の大切さ等、自らの体験を後世に語り継ぐ活動を続けている。</p>
	<p>鎌田修広氏 (株) タフ・ジャパン 代表消防庁防災アドバイザー 全国の消防学校、自治体、小中、幼稚園、保育園へ出張し、実技を交えた参加型講演を行っている。 ホームページ ⇒ http://www.tough-japan.com</p>

●参加お申込み先：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

tel:03-5755-3213 / fax:03-5755-3081 /mailto : info@kodomonono-mori.net